榴岡図書館の本棚

榴岡図書館では、月毎に展示を行なうだけでなく、ジャンルや作家別でもさまざまなコーナーをつくっています。
※シーズンによって展示は異なります。（右は昨年度７月の展示）

場 所　一般書：小説棚の上　切り絵の POP が目印
時代小説や歴史小説も作家別に揃えています。

場 所　一般書：出入口付近の棚（YA コーナーの裏）
クリスティー文庫や刑事コロンボは
海外文庫シリーズのコーナーにあります。

場 所　一般書：三角山の展示の横
赤ちゃんや子育て孫育てについての本は
出入口近くのコーナーにあります。

場 所　児童書：よみもの棚の中
榴岡図書館司書のおすすめの
小説などを展示してます。

場 所　児童書：おはなしのへやの前
横山光輝の三国志や鉄腕アトム、サザエさん
といったマンガもあります。

アカウント名
@sendai_lib

発行：仙台市榴岡図書館
〒983-0852　仙台市宮城野区榴岡 4-1-8　パルシティ仙台４F　☎295-0880

榴岡図書館だより

第　１８　号
令　和　３　年
３　月　１　日

このコーナーでは、榴岡図書館スタッフの「Favorite（お気に入り）」な作品や作家を紹介します。

My favorite book

『しんかんせんで　おいかけろ！』

旅行にはトラブルが付き物だと思う。

以前、吹雪の中、必死で飛行場まで辿り着いたものの、肝心の飛行機が飛ばずに足止めを食らったことがある。もちろんこればかりではない。

道に迷う。忘れ物をする。乗り換えを間違える。楽しみにしていたお店が既に閉店している。そのたびに浮かれていた気分から、一気に厳しい現実に引き戻される感覚に陥る。「いってきます」から「ただいま」まで完全に計画通りにいった旅行などひとつもない。

ただ、そうしたトラブルのたび、駅員さんや運転手さん、ホテルの人といった現地の方々から親身に接していただいて、この優しさがとても身にしみる。「旅は道連れ世は情け」ということわざの通りである。

「しんかんせんでおいかけろ！」は、私が小さい時から読み親しんできた絵本である。寝台特急「はやぶさ」で西鹿児島へ向かおうとする姉と弟。しかし、計画通りにはいかない。ひょんなことから姉が電車に乗り遅れてしまうのだ。楽しかった雰囲気から一転してハラハラする展開へ。取り残された姉は駅員の助けを借りながら、新幹線で「はやぶさ」を追いかけるという物語だ。

『しんかんせんで
おいかけろ！』

横溝　英一／文と絵
小峰書店　1997.7

コロナ禍のいま、旅行をゆったりと楽しむ余裕は残念ながら持てていない。けれど、いつかまた旅行に行けるようになったら、その時は予期せぬトラブルさえも面白おかしく楽しんで、土産話のひとつにできたらと思う。

仙台市榴岡図書館　川村大吾

＜関連資料＞
・『はしれはやぶさ！　とうほくしんかんせん　のりものえほん』　横溝　英一／文・え　小峰書店　2012.７
・『夜行列車の記憶』松本　典久／著　天夢人　2020.８